

みんな大好き肝っ玉かあさん！  
元気の秘訣は編み物



(特養)中館園(中館)で暮らす<sup>すぎやまやすこ</sup>杉山保子さんは御年100歳。どんなことにも前向きで、こだわりを持って生活されています。元気の秘訣は日課にしている編み物で、今編んでいるこのセーターも70歳の娘さんへのプレゼント。編み物は、ほかの入所者へも差し上げているそうです。



100歳を迎えるみなさんを須藤市長が訪問  
今年度は39人が100歳に到達

敬老の日を前に、在宅で元気に過ごされている今年度100歳に到達するみなさんを須藤茂市長が訪問し、褒状と記念品を贈りました。今年度、市内で100歳に到達する人は39人で、100歳以上の人が91人ご健在です(8月1日現在)。<sup>かつぬま</sup>勝沼マス子さん(井上)は工作が趣味で、鉛筆立てなどを作っています。また、自作の短歌や俳句を詠み、子どもたちにプレゼントするそうです。

敬老の日を迎えて

おじいちゃん、おばあちゃんに感謝の気持ちは伝えましたか



「地域で話題の高齢者」に本市から2人が選出

国内の100歳以上の人でさまざまな分野で元気に活躍する「地域で話題の高齢者(厚生労働省主催)」の60人に、本市から2人が選出されました。

<sup>つかごしきいちろう</sup>塚越喜一郎さん(写真左・森添島) 元下館市教育長で、二宮尊徳研究にも力を注ぎ、昨年開催された「全国報徳サミット」では大会名誉顧問を務めました。また、100歳の記念に、著書『私の尊徳先生観』を出版しました。

<sup>あらいけいこ</sup>荒井慶子さん(写真右・中館) 100歳となった今も、生け花の教室を自宅で娘さんと開催しています。また、通っているデイサービスなどでも花を生け、職員や利用者に喜ばれているそうです。

会員自慢の陶芸作品  
手作り湯飲みをお届け

高齢者趣味クラブ陶龍会(中島<sup>なかじま</sup>悌次会長)は、製作した湯飲み37点を(特養)さくら荘(酒井俊忠施設長)へ贈呈しました。「少しでも入所者の癒やしになってくれるとうれしいね」と中島会長。